

がいこくせきけんみん
外国籍県民かながわ会議の
かいぎ
ぶかいわ あん せつめい あん
部会分け案の説明 (案)

しりょう
資料 2

わけかた 分け方	わ テーマで分ける	わ せいか 成果で分ける
ないよう 内容	<p>○ 同じテーマに問題を感じる委員が話す 話し合う。</p>	<p>○ 同じ成果を期待する委員が話し合う。</p>
すす 進め方	<p>① テーマごとに、足りないものや、これから必要な取組を考える。 ② 必要があれば、勉強会をする。</p>	<p>① 「こうなるだろう」という成果を達成するためには必要な取組を考える。 ② 具体的な取組の企画書を作り、提言を補助する。</p>
いいところ	<p>○ 委員は、同じテーマに興味がある。だから、テーマに沿ったアイデアを言いやすい。 ○ 部会の委員だけで勉強会ができるので、日にちを決めやすい。</p>	<p>○ テーマを限定しない。だから、色々なアイデアを出せる。 ○ 最初に、目指す成果を決める。だから、スムーズに話し合いを進めることができる。</p>
わる 悪いところ	<p>○ それぞれの委員が考へている成果のレベル（どこまでするか）が違うと、話し合いが進みにくい。 ○ 委員が自分で考へたテーマに沿った議論になりやすい。 ○ 新しいアイデアが出ない可能性がある。</p>	<p>○ 話し合いをして、目指す成果と自分の考えが違うと、部会を移動する可能性がある。 (または、別の部会で自分の案を話すよう、お願いをする) ○ 勉強会に参加する人数が多くなり、日にちを決めづらい。</p>

区分	テーマで分ける	成果で分ける
イメージ	<p>(例) 教育部会</p> <p>【課題】 高校の進学率が低い。</p> <p>【解決する方法】 高校の進学率を上げるために話し合う。</p> <p>【提言の例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高校の定員を増やす。 2 多言語の資料を作る。 3 中学校への支援の体制を充実させる。 4 公私の学費格差を改善する (「高等学校等就学支援金制度」などの拡充)。 <p>【提言後】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・2 県に働きかける。 3 市町村に働きかける。 4 国に働きかける。 	<p>(例) 生活を改善する部会</p> <p>【課題】 安心して暮らせるようにする。</p> <p>【解決する方法】 受け入れやすい社会にするために話し合う。</p> <p>【提言の例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域に引っ越してきた外国人に生活情報を紹介する。 2 地域のイベントに出展する。 3 小学校で、母語・母文化の授業を行う。 <p>※ テーマごとにする場合、1は生活の部会、2は多文化理解や国際交流の部会、3は教育の部会に分けられる。</p> <p>【提言後】</p> <p>地域(市町村)に働きかける。</p>